

◎第4回理事会(38.9.27)出席者:議長(会長指名)大石理事,羽田専務理事,内田,岡部,嶋,田中,前沢,渡辺の各理事。

議長署名理事の決定,羽田専務理事,内田理事

A. 協議事項:1) 50周年記念事業会館建設委員会を土木図書館建設委員会と名称変更,ならびに図書館の建設申請手続,図書館の運営について羽田専務理事より説明了承。2)「理工学における同位元素研究連合発表会(仮称)」の共催についてを可決。3) 土木学会および建築学会の連合委員会の設置について国分正胤氏(コンクリート関係委員会有志代表)が出席し,コンクリートおよび鉄道コンクリートの研究に関する諸外国への連絡は,土木,建築両学会が別個に行なって来たが,混乱を招く慮があり,また両学会でコンクリート関係共通問題についても協議したい旨の説明があり承認し,連合委員会委員をつぎのとおり推薦。

土木学会選出委員

- 永田 年 東京電力 KK
- 国分 正胤 東京大学
- 河野 通之 国鉄構造物設計事務所
- 猪股 俊司 日本構造橋梁KK
- 樋口 芳朗 国鉄鉄道技研
- 村上 永一 建設省土木研究所
- 村田 二郎 都立大学
- 山田 順治 日本セメントKK研究所
- 丸安 隆和 東京大学
- 仁杉 敏 国鉄東京幹線工事局
- 谷藤 正三 建設省都市局
- 田中正己 ケンメイヤー技術KK
- (地方連絡委員)
- 横道 英雄 北海道大学
- 後藤 幸正 東北大学
- 岡田 清 京都大学
- 水野 高明 九州大学
- 加賀美 一二三 山口大学

4) 支部長の委嘱について:つぎのとおり西部支部長を委嘱

- 上田 稔 九州地方建設局長
- 前任 大串 満馬 前九州地方建設局長

5) 評議員の補充について

東北地区

- 新平 手久之助 宮城県土木部長
- 前長 瀬 新

西部地区

- 新樽 井常忠 建設省九州地建道路部長
- 前大 串満馬
- 新高 知栄一 福岡県道路建設課長
- 前藤 村 達

6) 委員委嘱について

昭和38年度土木賞委員会

- 委員長 山本 三郎 会 長
- 副委員長 岡本 舜三 東京大学
- 学術賞主査 国分 正胤 同 上
- 技術賞主査 左合 正雄 都立大学
- 幹 事 野口 功 国鉄構造物設計事務所
- 日野 幹雄 電力中央研究所
- 堀井健一郎 早稲田大学
- 吉田 巖 建設省土木研究所

海外連絡委員会

- 委員長 柳 沢 栄 吉 アジア航空測量KK
- 委員 奥村 敏 恵 東京大学
- 加納 治 郎 経済企画庁総合計画局
- 河野 康 雄 パシフィックコンサルタンツKK
- 田中 茂 美 興和コンクリートKK
- 種谷 実 鹿島建設KK
- 徳善 義 光 栗本鉄工所KK
- 西松 醇 厚 西松建設KK
- 根来 幸次郎 国 鉄
- 三野 定 建設省道路局
- 最上 武 雄 東京大学
- 八十島 義之助 同 上
- 幹事 伊藤 学 東京大学
- 庄司 四郎 国 鉄
- 高橋 裕 東京大学
- 前田 進 運輸省港湾局

岩盤力学委員会

- 委員 石川 豊 国 鉄
- 粕谷 逸 男 国 鉄
- 常任委員 高橋 彦 治 国 鉄
- 幹 事 小林 芳 正 国 鉄

水理委員会

- 委員 古賀 雷四郎 建設省
- 文献調査委員会
- 委員 塚 幸 七 建設技術研究所
- 柴田 信 重 運輸省港湾局

7) その他:a. 50周年記念事業の状況報告・羽田専務理事より行事委員会,記念出版委員会,総務委員会の経過,計画等について報告。b. 国際水質汚濁会議関係・基金についての免税措置については大蔵大臣宛指定寄付金の承認申請を土木学会より出させねばならない旨を羽田専務理事より説明了承。8) 会員入退会報告。9) 会計報告。10) 刊行物申込状況。

◎各種委員会

(1) 昭和38年度第1回水理委員会(38.8.22)出席者:石原委員長,横田副委員長,ほか委員34名。議事:1) 新委員長挨拶。2) 委員自己紹介。3) 水理公式集校閲について。4) 第8回水理講演会プログラム決定。5) 水理委員会の運営について。6) シンポジウム開催について。7) 委員1名交代の件。8) IAHR, ロンドン大会出席者代表と懇談。

(2) 本州四国連絡橋技術調査委員会総幹事会(38.8.27)出席者:幹事6名。議事:省略。

(3) 本州四国連絡橋技術調査委員会

基礎に関する専門部会調査幹事会(38.8.27)出席者:村山,小宅の両委員,ほか幹事9名。議事:省略。

(4) 本州四国上部構造に関する専門部会第10回耐風設計小委員会幹事会(38.8.28)出席者:平井委員長,ほか委員11名,幹事補佐1名。議事:省略。

(5) 会誌講座「岩盤力学」打合せ(38.8.28)出席者:八十島委員長,ほか担当委員2名,執筆9名。議事:会誌49巻1号より6号に登載する上記講座の執筆区分および執筆担当責任者を決定した。

(6) 50周年記念出版委員会幹事会打合せ(38.8.29)出席者:幹事3名。議事:50周年記念論文集出版につき,論文選定方法,その他の打合わせを行なった。

(7) 第3回会誌編集委員会(38.8.30)出席者:八十島委員長,ほか委員23名。議事:1) 会誌48巻9号~49巻6号までの編集諸討議。2) モニターの件討議(特に正月,12月特集について講座岩盤力学について)。

(8) 水理公式集改訂幹事会(38.8.31)出席者:委員5名。議事:改訂水理公式集正誤表作成の件。

(9) 会誌特集号編集打合せ(38.9.2)出席者:八十島委員長,ほか委員7名。議事:学会誌正月号特集としてオリンピックを中心とした企画をたてその実施法を討議内定(一部決定)。

(10) 50周年記念会館建設委員会(38.9.2)出席者:金子委員長,ほか委員4名,羽田専務理事。議事:1) 羽田専務理事より経過説明。2) 委員会の名称を図書館建設委員会に変更。3) 図書館建設の設計は大体いので早急に手続を行なって工事にかかるようにする委員会。

(11) 本州四国連絡橋技術調査委員会幹事打合せ(38.9.3)出席者:幹事5名。議事:省略。

(12) 本州四国基礎に関する専門部会第20回幹事会(38.9.3)出席者:沼田部会長,ほか幹事12名。議事:省略。

(13) 会誌編集小委員会(38.9.6)出席者:八十島委員長,ほか委員2名。議事:1) 第48巻第11号編集方針決定。2) 正月,2月号編集方針の報告。

(14) 文献調査委員会(38.9.6)出席者:千秋委員長,ほか委員13名,事幹1名。議事:1) 48巻11号登載抄録について。2) 委員の交代。3) 海外文献にもとづく資料,解説,展望記事の作成について。4) 50周年出版委員会から申入れのあった会誌論文集のさく引の件について。5) 新書,新刊の紹介欄の原稿作

成について。

(15) **耐震構造設計研究委員会幹事会第3回打合せ**(38.9.9) 出席者:久保幹事長,ほか幹事3名。議事:1) 土木構造物の耐震設計指針(案)項目の検討。2) 池田,小寺,杉田,渋谷の各幹事担当の項目内容について。

(16) **第13回原子力土木技術委員会**(38.9.9) 出席者:左合委員長,ほか委員5名。議事:1) 前回議事録の確認。2) 「理工学における同位元素研究発表会」について。3) 地下発電所について。4) 立地基準について。

(17) **第3回論文編集委員会**(38.9.11) 出席者:奥村委員長,ほか委員28名。議事:1) 前回部会長報告。2) 各部会ごとに審査中論文の審査報告。3) 新規受付論文審査委員の決定。4) その他。

(18) **50周年記念事業行事委員会第2部会**(38.9.12) 出席者:加納部会長,ほか委員2名。羽田専務理事。議事:行事第2部の実施計画,予算等の原案を決定した。

(19) **学会誌中国四国支部特集打合せ**(38.9.12) 出席者:西村支部長,銀山幹事長,八十島会誌編集委員長,ほか関係者10名。議事:1) 49巻2号を中国四国支部の特集号とする件。2) 支部内に編集委員会を設置する件。3) 編集方針の協議。4) 座談会の進行方法協議。5) その他。

(20) **編集委員会・中西支部共催「瀬戸内海沿岸総合開発計画」座談会**(38.9.12) 出席者:関係者11名。議事:標記の件に関する座談会を開催し,学会誌49巻2号に速記録を整理して登載する。

(21) **大学土木教育委員会第3回幹事会**(38.9.17) 出席者:米屋委員長,嶋幹事長,ほか幹事4名。議事:1) 第2回幹事会議事録により各調査方法,アンケートとして出す形式等の協議を行なった。2) 嶋幹事長(東大),森幹事(京大),増岡幹事(建設省),林幹事(国土開発)それぞれに用意された資料の検討を行なった。

(22) **原子力関係コンクリート小委員会見学会**(38.9.5) 出席者:国分委員長ほか委員16名,関係者8名。議事:つぎのとおり原子力研究所の見学を行なった。1) 放射性廃棄物処理場,2) 放射性廃棄物塩化核燃料再処理棟,3) 汚染除去場,4) 放射性同位元素協会・貯蔵庫,5) 高レベル廃棄物貯蔵施設。

(23) **論文集部会長会**(38.9.19) 出

席者:奥村,吉川正副委員長,三木部会長ほか委員5名,幹事1名。議事:1) 各部会報告。2) 論文集第99号,第100号登載論文の決定。3) 委員交代の件。4) 投稿要項の件。5) 論文集の今後のあり方。6) その他。

#### ◎その他

(1) **支部幹事長会議**(38.8.30)  
場 所:土木学会会議室  
出席者:各支部幹事長6名,羽田専務理事ほか6名。議事:1) 評議員選挙の方法について。2) 支部規程制定について。3) 経理事務について。4) 会員増加対策について。5) その他。

(2) **定款改正実施担当理事打合せ**(38.9.5)

場 所:土木学会会議室  
出席者:大石,三野,内田の各理事,末森前専務理事,羽田専務理事。議事:1) 評議員と役員選挙の選考について。2) 関東支部の設置について。

(3) **土木用語辞典編集委員会**(38.9.10) 出席者:委員18名,(コロナ社)2名,(技報堂)2名。議事:1) 挨拶。2) 経過報告。3) 委員会の構成と編集方針について。4) 集録用語について。5) 執筆要領の審議。6) 契約,印税について。

(4) **第22回関東地区学生諸君のための映画会**(38.9.21)

場 所:土木学会会議室  
参加者:22名  
上映映画:(1) 海に築く (2) 海壁 (3) 防潮堤

(5) **名誉会員 藤井真透氏** 9月19日ご逝去につき生花を贈呈。

## 支 部 だ よ り

### ◎東北支部

(1) **見学会**(38.8.20~21) 行程:第1日,宮城県庁前~国道4号線~蔵王道路ゲート~刈田岳駐車場(昼食)~上ノ山,米沢市~小野川温泉,第2日,小野川温泉~米沢市国道13号線(第2栗子トンネル,第1栗子トンネル,大滝道路改良工事場見学)~福島(昼食)~仙台。参加者55名。

(2) **役員交代**  
幹 事  
新 中野太吉(宮城県土木部道路課長)  
旧 高橋 巖(前 " )  
商議員  
新 川瀬正俊(KK熊谷組仙台支店長)

旧 原田干三(東北大学工業教員養成所教授)

### ◎関西支部

(1) 「ラジオアイソトープによる土の密度と含水量測定法」講習会(38.9.7,大手前会館)

主 催 日本建設機械化協会関西支部  
協 賛 土質工学会関西支部・土木学会関西支部

参加者210名

(2) **第5回幹事会**(38.9.20,土木学会関西支部事務局)

出席者:石田支部長,ほか幹事12名。

### ◎中国四国支部

(1) **第1回講演会**(38.9.6)

会 場:広島市国泰寺町32 広島建設会館

講 師:日本舗道KK 技術部長

竹下 春 見

題 目:アスファルトによる法面のライニングについて

参加者:180名 参加費:無料

講演後つぎの映画を上映説明された。

1. 大分県アスファルト マチック グラウチング工法並びに地蔵面干拓工事法  
面舗装

2. 鍋田干拓マチック工法並びに姉ヶ崎マチック工法

3. 新利根川の堤防舗装並びに鍋田干拓堤防舗装

(2) **第6回幹事会**(38.9.9)

開催場所:会議所グリン会議室

出席者:銀山幹事長,ほか幹事7名。

議 題:1) 学会誌中国四国特集号の編集方法について。2) 支部学術講演会について。3) 12月開催予定の行事について。4) その他。

(3) **第2回講演会**(38.9.13)

共 催:土木学会中国四国支部・建築学会中国支部

会 場:広島市紙屋町 第一生命ビル  
日立ファミリーホール

講 師:東京大学地震研究所 金井 清  
題 目:地震と構造物について

参加者:140名 参加費:無料

(4) **第2回見学会**(38.9.15~17)

行程:第1日 広島駅前発(9.00)~1級国道赤名峠トンネル工事見学(島根県)~1級国道吹ケ峠トンネル工事見学(道路公園)~皆生着(18時)(泊),第2日皆生海岸浸食対策工事見学(9.15)~大山登山道路工事見学~境港港湾整備工事見学~中海干拓事業予定地見学~松江発(22.00),第3日 広島駅前着(5.00)

参加者:33名 参加費:2500円

(5) **座談会**(38.9.12)

共催：土木学会中国四国支部・会誌編集委員会

会場：広島市基町 広島毎日会館内  
広島クラブ

主 題：「瀬戸内海沿岸総合開発を語る」  
出席者：10名、関係者3名。

(6) 会誌中国四国特集号準備会(38.9.12)

開催場所：広島市基町 広島毎日会館内  
広島クラブ

出席者：八十島編集委員長、ほか関係者13名。議題：1) 編集の基本方針。2) 編集内容。3) 編集作業方法。

本部の方より編集に対する希望並びに今までの事例について説明があり、また

支部幹事会において立てられた方針案について協議された結果つぎの特集号編集委員会を設けて推進することとなった。

編集委員長 長尾 満 (中国地方建設局)  
編集副委員長 門田 博知 (広島大学)  
編集委員 新居 英一 (中国地方建設局)  
内田 哲郎 (運輸省広島港工事事務所)

銀山 匡助 (広島市建設局)  
小石川謙治 (中国電力KK土木部)

近藤 時夫 (国鉄中国支社施設部)

佐藤本次郎 (中国地方建設局)  
高木 一裕 (広島県土木建築部)

山下 義一 (四国地方建設局)

(7) 第1回特集号編集委員会 (38.9.18)

9.18)

開催場所：会議所グリル

出席者：長尾委員長、ほか9名。議題：1) 編集方針について。2) 編集内容について。3) 内容項目ごとの資料提出依頼先。4) 各委員の編集分担。5) 編集日程等。

◎西部支部

(1) 役員の補充

評議員

新 樽井 常忠 (九州地建道路部長)

旧 豊田 栄一 (前 " )

新 高畑 正治 (福岡県道路建設課長)

旧 藤村 達 (前 " )

## 第10回海岸工学講演会講演集刊行

標記の図書は去る10月22、23日大阪市において開かれた第10回海岸工学講演会に使用し、好評をいただきました。本文には32編の講演が収録されており、一般会員の方々のご講読をおすすめ致します。

体 裁：B5判 184ページ 図表多数

定 価：1200円(千100円) 会員特価：1000円(千100円)

### 編集後記

ここに11号をお届けしますが、これが普通号としては本年最後のものとなりました。つづく12号と新年号とがともに特集号に予定されている関係で、ことに内容から見て登載時期を失すおそれのあるものは、受付順位をも考慮しつつ、できるだけ本年最後の普通号であるこの11号に入れることにしました。そのため、執筆者と内容とにバラエティーを持たすという基本線が、本号ではやや後退した感じですが、どのようにご覧になりましたでしょうか。

他の工学分野においてもそうであ

るように、土木工学も次第に専門分化され、その各方面において着々成果があげられつつあることはご同慶の至りです。また、最近のように新技術を駆使して、随所に身近かに土木工事が行なわれることになると、一般人の示す関心も一段と強く、ときにはそれに突き上げられて、自分の所属以外の分野にわたる勉強を余儀なくされることがあります。このようなきに最近の学会誌は、便利に読めるという点では、数年前にくらべて随分発展したものだと、つくづく感心します。編集担当者自身が感心するのは変な話ですが、ここに

至るまでの多数の先輩、編集部各位の並々な努力に改めて敬意を表します。

登載区分も論説、展望、寄書、訃の広場、ロータリー、ニュース……とあげて行くと、その総数約20。それらを毎月、相互のバランスを考えて埋めて行くことは大変なことには違いありませんが、これでこそ時流に則した、会員のための学会誌がえられるものとして、一同知恵をしばっています。

今後とも会員の皆様からの一層のご支援を望んでやみません。

[神戸大学 西村・記]

### 昭和38年度土木学会誌編集委員

委員長	八十島 義之助				委員兼幹事 松本成男	
委員	石井文雄 斉藤俊彦 新谷重雄	梅田卓郎 城野忠雄 原田信昭 森本茂男	遠藤篤康 千秋信一 藤井喬 湯浅昭	大山忠 土屋昭 町富士夫 渡辺隆	後藤績 奈良部俊雄 三池亮次	佐藤尚徳 南部繁春 森 麟
地方委員	(北海道支部) 菅原照雄 河野文弘	(東北支部) 三浦晃 阿部泰夫	(中部支部) 酒井清太郎 増田重臣	(関西支部) 赤尾親助 西村昭	(中四支部) 長尾満 門田博知	(西部支部) 小坪清真 長友文昭

会 員 入 退 会 に つ い て ( 昭 和 38.9.1~9.30)

1. 入 会	120 名 (正 65 学 34 特 1B 1 特 1C 7 特 1D 13)
2. 復 活	5 名 (正)
3. 退 会	13 名 (正)
4. 死 亡	3 名 (名誉 1 正 1 学 1)
5. 転 格	15 名 (正→学 6 学→正 6 特 1D→特 1C 2)

特 別 会 員 の 入 退 会

○入 会	昭和 38.9.13	特 1B	日本舗道KK 札幌支店	札幌市南 1 条西 4 丁目 8 番地	
		特 1C	道 路 工 業 K K	札幌市南 8 条西 15 丁目	
			住友建設KK 北海道支店	札幌市北 3 条西 13 丁目 3 番地	
			K K 広 野 組	旭川市 4 条通 10 丁目左 10 号	
			北 拓 建 設 K K	札幌市大通西 15 丁目 3 番地	
			勇 建 設 K K	札幌市大通西 11 丁目 19 番地	
			K K 石 山 組	札幌市北 10 条西 20 丁目 35 番地	
			K K 生 駒 組	旭川市 4 条通 3 丁目右 6 号	
			特 1D	日 本 植 生 K K	岡山県久米郡久米町油木北 1349
			賀 豊 土 建 K K	広島市鞆町 141	
			K K 共 立 組	広島市大手町 8 丁目 159-1	
			日本ブロック建設KK	広島市東白島町 196	
			K K 相 原 組	広島市尾張町 185-13	
			杉 山 建 設 K K	札幌市大通西 9 丁目 1 番地	
			藤 建 設 K K	稚内市港町 2 丁目	
○転 格	昭和 38.9.13	特 1D→特 1C	宮坂建設工業KK	札幌市南 1 条西 1 丁目 8 有楽ビル	
			K K 柳 川 組	札幌市北 6 条西 22 丁目	
			K K 谷 組	札幌市南 4 条西 10 丁目 1010	
			坂 本 建 設 K K	札幌市北 13 条西 3 丁目 3 番地	
			日本橋梁KK 東京支店	都中央区日本橋江戸橋 3 丁目 6 岩井ビル	
			関東ヒューム管KK	都北区浮間 3-4-4	
			K K 高 木 組	帯広市西 4 条南 8 丁目 12 番地	
				函館市東雲町 15 番地	

会 員 現 在 数

名 誉	正 員	学 生 員	賛 助	特 級	特 1A	特 1B	特 1C	特 1D	特 2	計	(増)
50	14 417	1 706	30	18	16	42	206	306	27	16 818	(110)

名誉会員	藤 井 真 透 君	日本大学教授	昭和 38. 9. 19	死去	74 才
正 会 員	尾 上 良 淳 君	三井鉱山KK 地質部	昭和 38. 9. 11	死去	49 才
学 生 会 員	名 取 勇 君	神戸大学工学部土木工学科	昭和 38. 5.	死去	23 才

昭和 38 年 11 月 10 日印刷

昭和 38 年 11 月 15 日発行

土 木 学 会 誌 第 48 卷 第 11 号

印 刷 者 大 沼 正 吉

印 所 所 株 式 会 社 技 報 堂

東 京 都 港 区 赤 坂 溜 池 5 番 地

発 行 者 羽 田 巖

発 行 所 社 団 法 人 土 木 学 会

東 京 都 新 宿 区 四 谷 一 丁 目

定 価 200 円 (送 料 20 円)

振 替 東 京 16828 番

電 話 (351) 5130・5138・5139 番

鹿島研究所出版会編

A5判二三〇頁 カラー一丁別刷  
アート二四頁 定価六〇〇円

# 海外の土木技術

建設会社の第一線で活躍する土木技術者が、それぞれの専門分野について海外の建設事情を視察した興味あるレポート。

▼内容 土木技術者のみた海外の印象・高速道路・オランダの干拓・ソ連の水力発電所・ドック施設・プレストレストコンクリート・スウェーデンの地下鉄工事と都市の再開発  
・原子力発電所・建設機械化の現状・ブラジル事情・ケミカルグラウト

山口昇博士論文選集刊行委員会編（限定版）

# 山口昇博士論文選集

わが国応用力学、土質工学の近代の開祖ともいふべき、故山口昇博士の代表論文――

版の熱応力に関するもの・トンネルの地圧に関するもの・土の剪断抵抗に関するものを収む。

解説―東大教授 最上武雄博士

▼発売中・ご希望者は、いままさに直接本社へお申込み下さい。

〈図書目録呈〉

鹿島研究所  
出版会

東京都港区芝田村町5-9  
浜ゴムビル5階

- |           |             |              |         |
|-----------|-------------|--------------|---------|
| 鹿島研究所出版会記 | ローレンス・ミラー著  | 建設業成功の秘訣     | 予 ¥ 680 |
| 堀松和夫著     | 国鉄盛岡工務局研究室長 | 構造物基礎の応力調整工法 | 予 ¥ 580 |
| 二宮嘉弘著     | 大阪市大助教授     | 簡易索道の計画と設計   | 予 ¥ 600 |
| 三笠正人著     | 大塚正人著       | 軟弱粘土の圧密      | 予 ¥ 750 |

## 《新発売》

### TY75-LD レッグドリル

### TY75 シンカー

- 小口径穿孔に理想的な設計……………最高の打撃数、しかも軽打撃によって19mmロッドの特性を最大限に生かすことができます。
- 保健、衛生の向上に効果的……………独特の防振防音装置を施していますので、振動、騒音などによる疲労はありません。

土木担当販売店

## マイト機械株式会社

東京都港区芝西久保巴町12  
福岡、大阪、岐阜、仙台、高松

製造元

## 東洋工業株式会社

広島

